

# ほけんたより 12月

今年もそろそろ終わりに近づいてきましたね。皆さんにとって、今年はどうな一年でしたか。

来週には、昼間主は19日と20日は球技大会、夜間主は19日映画観賞、20日は球技大会と楽しい行事が待っています。

そしていよいよ冬休みに入ります。今年一年元気に過ごせた人も最後に油断して体を壊さないように気をつけてください。

新年も、皆さんの元気な笑顔が見られることを楽しみにしています。



これから、クリスマス、お正月と楽しいイベントが家庭でも続きます。ちょぴり背伸びしたい気持ちは分かりますが、羽目はずしすぎないようにしてください。

未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

1922年に定められた「未成年者飲酒禁止法」は、未成年者の飲酒はもちろん、周りの大人の防止義務や罰金まで定めています。

未成年者の飲酒は、さまざまな悪影響をもたらします。

## 1 身体的な影響

### ① 脳の発達に影響する「脳障害」

脳が成長している時期にお酒を飲むと、脳の神経細胞を破壊し脳萎縮を早めてしまう危険があります。

### ② その他の「身体への悪影響」

・過度の飲酒をすると、アルコールに慣れていないため酔いの程度が強くなり、「急性アルコール中毒」につながりやすい。

・脂肪肝や肝硬変などの「肝障害」をひき起こしてしまう恐れがある。

・すい炎や糖尿病などのリスクもある。

・アルコールが二次性徴に必要な性ホルモンに悪影響を及ぼすことが分かっている。

## 2 精神面における影響

① 「アルコール依存症」を発症しやすい

## 3 その他の「精神面への悪影響」

・集中力が続かない、学習意欲の低下

・怒りっぽくなったり、自己中心的になるなど、性格が変わってしまう。

インターネットアサヒホームページ 「未成年者の飲酒はなぜいけない。」より

※もし、誰かにすすめられてもきちんと断ることが大切です。



12月1日は世界エイズデーです。エイズのボランティア活動に携わっている人が「赤いリボン」を身につけているのに気づいたことはありませんか？

もともと、赤いリボンはヨーロッパに古くから伝わる風習のひとつで、病気や事故などで亡くなった人々への追悼の気持ちを表すものだったそうです。それがアメリカでエイズが社会問題となってきた1980年代の終わり頃からエイズのために使われるようになってきました。



♥ RED RIBBON

その他の性感染症も増えてきています。



## A 性行為で感染する病気

たった一度の性行為でも感染する可能性があります。また、自覚症状がない人も多く、知らないうちに大事なパートナーにうつしてしまったり、重症化するケースも。



## 他人事ではありません

性器クラミジア感染症について調べた研究では、性交渉の経験がある女子高生の13.1%、男子では6.7%で感染していたという報告もあります（日本性教育協会）。

## 主なSTI

### 梅毒

近年、爆発的に増加。陰部や口にできる痛みのない赤いしこりが主な初期症状。

### 性器ヘルペス

無症状の場合もありますが、性器に水疱ができ痛みが出て、再発を繰り返す場合も。女性に多いです。

### 性器クラミジア感染症

非常に多い性感染症。男性は尿道に炎症を起し、排尿時にしみたりします。女性は不正出血や下腹部痛などが症状です。

### 淋菌感染症

男性に増加中。症状は、男性では強い排尿痛、尿道からの多量の分泌物など。女性ではおりものの増加や、排尿痛、頻尿があります。

### 尖圭コンジローマ

性器や肛門周辺にいぼがびっしりできます。がんの原因になる危険も。

### トリコモナス症

女性に多く、悪臭のするおりものやかゆみがあります。不妊の原因になります。

### B型肝炎

全身のだるさや黄疸などが出る場合があります。